真岡市

公式サイト　URL http://www.city.moka.lg.jp/

■市花　わた

■市木　けやき

■市鳥　ひばり

市町類型	2－0	R2 年国調人口		78, 190人
財政力指数（R 元～R3 平均）	0. 836	住民基本台帳（R4.3.31）	人口	79, 294人
職員数（R4.4.1）	491人		世帯数	32, 209世帯
職員 1 人当り人口	162人	面積（㎢）		167. 34

■沿革

この地は、古くから芳賀地方の政治、経済、文化の中心的役割を担い、江戸時代には「真岡木綿」の特産地として全国にその名が知られていました。

近郊4町村が合併し、真岡市が誕生したのは昭和29年。平成21年3月には隣町である二宮町と合併し、平成26年10月1日に市制施行60周年、平成31年3月には二宮町との合併10周年を迎えました。

かつては農業を産業の基盤とするまちでしたが、現在は約90社におよぶ企業が操業する、大規模な工業団地を有するハイテク都市として発展を続けています。

■地勢

真岡市は、栃木県の南東部に位置し、東に連なる八溝山地、西に流れる大河鬼怒川を抱える自然環境豊かな都市です。

また、首都東京から90キロメートル圏内に属し、東京駅から東北新幹線を使えば約1時間40分の距離にあります。

市の面積は167．344 平方キロメートル、都市計画、工業団地造成、ほ場整備が進み、農業、工業、商業がバランスよく調和した理想的な地方都市です。

■観光

江戸時代、「真岡」と言えばそのまま木綿の代名詞として通用するほど隆盛を極めておりました。絹のような肌ざわりの真岡木綿は絶大の人気を誇り、江戸の問屋の木綿仕入高の約8割が真岡木綿であったと記録があります。

現在は「真岡木綿会館」を中心に、昔ながらの技術と伝統を受け継ぎ、今に伝えています。この「真岡木綿会館」では、これまでの生産工房の見学や木綿の機織り、染色体験に加え、ショップ（販売店舗）を増築したことで、新たに木綿製品等を購入できるようなり、「真岡木綿」をより身近に感じることができるようになっています。

真岡市は「SL の走るまち」としても知られています。日本で最初の官営鉄道として開業した「真岡鐵道」は、土・日・祝日に蒸気機関車が走る人気路線となっています。

SL を模した真岡駅舎に隣接した「SL キューロク館」では、SL9600形や D51型 SL、旧型客車スハフ4425などが展示されています。特に SL9600形とD51型SLは圧縮空気を動力源として自走するので、迫力あるSLの動きを間近で見ることができます。

日本の都市公園100選に選定される「井頭公園」は、広大な敷地に、中央の池を囲む形で丘陵地と雑木林が広がり、園内には1万人プールやバラ園、花鳥館等の施設が整備されています。また、周辺には真岡井頭温泉、チャットパレス、農産物販売交流施設いがしら、井頭観光いちご園の5つの施設が集まっており、井頭公園周辺を「いがしらリゾート」と名付け、「癒し」と「多彩」をコンセプトに、サイクリングやアスレチックといったアクティビティや天然温泉とグランピング、冬にはいちご狩りを味わえるなど、ファミリーや友人同士で1年中楽しめる場所を目指しています。

また、鎌倉時代に親鸞聖人が建立した専修寺や大前神社本殿が国の重要文化財に指定されているほか、県の指

定有形文化財である岡部記念館「金鈴荘」や二宮尊徳（金次郎）が小田原藩から桜町領（現真岡市）に赴き、村の復興を果たした時の役所である国指定史跡桜町陣屋跡など、名所・旧跡が点在しています。

■産業

本市は、東京から約90Km 圏にあり、北関東自動車道と国道408号鬼怒テクノ通りが交差する交通の要衝として整備され、農業・商業・工業の調和のとれたまちとして発展しています。

農業：

日本一の生産量を誇る「いちご」をはじめ、県内での生産量1位の「メロン」など、地域の特性を活かした収益性の高い農業生産を進めて、園芸作物を中心とした農産物の一大生産地としての地位を確立しています。

特にいちごは、50年以上いちご生産量1位を誇る「いちご王国栃木県」において、生産量の主幹を担うだけでなく、県が毎年主催する「いちご王国グランプリ」において、最高賞（農林水産大臣賞）を最多受賞しており、まさに「質」・「量」ともに「日本一のいちごのまち」となっています。

工業：

東京から近いという恵まれた地理的環境や交通アクセスの良さなどの優位性を活かし、これまで真岡第1から第5工業団地及び大和田産業団地の6つの工業団地を整備し、現在は約90社が操業しています。

現在は、将来にわたり、雇用の機会を創出し、人口減少の抑制や財政基盤の確立を図るため、新たな産業団地の整備を行うとともに、企業の誘致を進めていく予定です。

商業：

制度融資の利用促進を図りながら、中小企業者等の金融支援を行っています。また、プレミアム付き商品券事業を継続支援すると共に、空き店舗対策を拡充し、中心市街地の活性化と魅力向上に取り組んでいます。

■その他特徴のある事項

質・量ともに日本一のいちごのまち。

「道の駅にのみや」では甘くて新鮮ないちごだけでなく、いちごロールケーキやとちひめジェラートなどの加工品やお土産品も販売しています。同駅内の「いちご展示温室」にはシーズンになると栃木県に関わりの深い7品種を栽培展示し、とちおとめやとちひめなどの品種の違いや香りが楽しめます。また、「井頭観光いちご園」では1～5月までいちご狩りが楽しめます。

真岡市は、北関東自動車道と国道408号鬼怒テクノ通りが交差する交通の要衝にあり、産業、文化、観光など多くの分野での地域間交流が期待される地域です。

■施政方針

ふるさと真岡市が、栃木県をリードし、全国に誇れる都市となるため、市民との「絆」を大切に、対話・協働・連携を進めながら、その先頭に立って「選ばれる都市（まち） もおか」の実現のため、市政運営の推進を図ります。

その市政運営の原点となる、新たなまちづくりの方向性を、若い世代が希望を持って「真岡に住みたい、働きたい、子育てしたい」と思えるような、そして、楽しさを実感できる、『だれもが〝わくわく〟する街づくり』の実現を目指します。その実現に向け、本市の未来を見据えた 5 つのプロジェクト「こどもの元気な成長プロジェクト」「若い世代・子育て応援プロジェクト」「いつまでも安心な暮らしの実現プロジェクト」「とちぎをリードする産業プロジェクト」「まちの活力再生・魅力創出プロジェクト」を基本戦略に位置付け、各施策を積極的に展開します。

■重要事業

事業名	予算額（千円）	事業の概要
情報教育推進事業	516，421	ICTを活用した質の高い教育を行い、児童生徒の資質・能力の育成を図るため、「1 人1台端末」を活用した、GIGA スクール構想を推進します。
学校給食センター整備事業	30，184	児童生徒の望ましい食習慣の形成を図るため、学校給食センター整備基本計画に基づき、第一・第二学校給食センターの施設整備を実施します。
複合交流拠点整備事業	300，927	市役所庁舎の周辺において、「遊ぶ、学ぶ、にぎわう」の機能を併せ持つ複合交流拠点施設の整備を行います。
新コミュニティバス路線導入実証運行事業	31，895	高齢化の進展等により高まる移動需要に対応するため、中心市街地と周辺地区を結ぶ新たなコミュニティバス路線の導入に取り組みます。
生活支援体制整備事業	14，095	生活圏域ごとに、高齢者等の生活支援等の地域課題を解決するための話し合いの場である協議体を設置し、地域の体制づくりに取り組みます。
産業団地整備事業	963，200	新たな雇用機会を創出するため、新産業団地の整備を行います。
いちご等生産施設整備支援事業	12，400	いちごやトマト、なす等の園芸作物の新規導入や生産規模の拡大を支援するため、パイプハウス整備等に対する補助を行います。
井頭周辺活性化事業	29，962	自然豊かな井頭公園を核として、一体的な観光ゾーンの整備を図るため、井頭周辺エリアの活性化を推進します。
総合運動公園整備事業	970，932	第77回国民体育大会及び第22回障害者スポーツ大会の本県開催を契機に、市民１人１人スポーツを目指したスポーツ推進のため、本市のスポーツ振興の拠点である総合運動公園の施設整備を行います。

■地域指定の状況について

・都市圏都市開発区域

・高度技術産学連携地域